

あけまして おめでとうございます

平成22年の輝かしい新春を健やかに迎えられましたことを、心からお慶び申し上げます。

昨年は、政権が交代するという国政上の大きな転換がありました。本市におきましては「千歳命名205年・開庁130年」「支笏洞爺国立公園指定60周年」さらには「千歳・アンカレジ姉妹都市提携40周年」を迎えるなど、千歳の歴史を考えるうえで節目となる1年となったところであり、多彩な記念事業を通じて市民の皆様とともに祝いすることができました。

一方において、我が国の景気は100年に一度と言われる世界同時不況の影響などから低迷が続く、こうした事態を受け、市では、国や北海道と呼応して緊急の経済対策や雇用対策に取り組むとともに、猛威をふるった新型インフルエンザには、感染拡大予防対策を講じるなど喫緊の課題に対応してまいりました。

また、本市の特性・優位性・可能性を踏まえた「重点施策」につきましては、「子育て・教育」では休日保育や奨学金制度拡大を実施、「企業誘致」では企業の新規立地が堅調に進み、4月には自動車部品メーカー㈱デンソーエレクトロニクスが操業を開始するなど、安心と活力につながる施策を果敢に進めたところであります。

また、焦眉（しやうび）の課題である自衛隊削減問題につきましては、昨年春に千歳市内と札幌市の2箇所「自

衛隊体制維持を求める総決起大会」を開催し、これと並行して道内一円で実施した署名活動では、目標を大幅に上回る22万5千筆を超える道民の署名をいただき、これを内閣に直接手渡し要望するなど積極的に活動してまいりました。これにより一定の成果をみたところであります。また、新政権の発足に伴い「防衛計画大綱の見直し」が1年先送りとなり再検討されるに至ったところであります。50年余にわたり自衛隊と共存共栄してきた北海道の歴史を踏まえ、「いかに政権が代わろうとも国防の基軸は変わってはならない」という考えから、今後もオール北海道でこの問題に取り組んでまいる所存であります。

本年は、3月には新千歳空港国際線ターミナルビルが、4月には本市防災の拠点となる「防災学習交流センター（そなえる）」がそれぞれ供用開始となる予定であり、本市の活力を生む基盤整備が着実に進捗しております。

加えて、平成23年度からスタートする今後10年間のまちづくりの指標となる「長期総合計画」の策定が大詰めを迎える年となりますが、引き続き「市民協働によるまちづくり」を基本に据え、「元氣な千歳」「住み良い千歳」に向けたまちづくりに取り組んでまいる所存であります。

新しい年が、活力にあふれ、市民の皆様が笑顔が輝く、希望に満ちた一年になりますよう心からお祈り申しあげ、新年のご挨拶とさせていただきます。

みんなの力で 活力あふれるまちへ

千歳市長
山口 幸太郎

